

# ティーンズ

## 【いじめについて】

新学期が始まって一か月が過ぎました。1年生にとっては、新しい小学校生活。2年生以上の学年は、それぞれ新しい学級に馴染んできた頃だと思えます。

さて、保護者の方々の一番の心配ごとは、やはり「自分の子はいじめにあってないか」ではないでしょうか。

昔のいじめの定義は「一方的に・・・、多数から・・・」というものでしたが、現在では「嫌な気持ちになったら」と広義的な捉え方になっています。これは、いじめの早期発見につなげるためです。沖縄県のいじめ認知件数が増えたのも、このような背景があるからです。

「いじめはどこにでも起こりうる。」という危機意識のもと、学校では、毎月生活アンケートを実施したり、6月と1月には教育相談週間を実施し、早期発見に努めます。また、毎月校内支援委員会を実施したり、必要に応じてケース会議を行い、生徒指導上の課題や支援の仕方等の検討をしています。更に、児童の相談ごとや心のケアをするため、市の教育相談員やスクールカウンセラーが配置されています。

しかし、いじめは人目のつかない所で行われます。最近ではSNSでの誹謗中傷で不登校になるケースもあります。いじめは発見しにくく、事が大きくなってから発覚するのが多いです。事が大きくなるまで苦しんでいる子のことを思うと悲しくなります。

そこで、保護者の方々にお願いします。ご家庭で何かの気づきがあれば、まず担任に連絡をしていただきたいと思います。どんな些細なことでもかまいません。先生と保護者が協力し合い、子ども達を守っていきたいと思います。まずは相談をお願いします。

## 本の寄贈

ろんきん与那原支店長の照屋安則氏より、本の寄贈がありました。メディアでご活躍されている賀数仁然(かかず ひとひさ)氏の「さきがけ歴男塾」という本です。沖縄の歴史について書かれた本で、興味深い本でした。図書室で貸し出しをします。寄贈ありがとうございます。



## 生徒指導朝会

4月28日(水)に今年度1回目の生徒指導朝会を行いました。宮本 佑樹先生から、安心・安全な学校生活のための「知念小のきまり」についての講話でした。先生の話真剣に聞いている姿を見ることができ、すばらしい子ども達に出会えたと、改めてうれしく思いました。

